

カトリック仙台司教区

東日本大震災救援・復興活動ニュースレター

発行人：平賀徹夫 編集：小松史朗
〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-12
カトリック仙台司教区事務局
Tel.022-222-7371 Fax022-222-7378
義援金振替口座：02260-9-2305
名義：カトリック仙台司教区本部事務局
支援金振替口座：00170-5-95979
カリタスジャパン

3. 11から早4ヶ月が過ぎようとしています。今も、義援金や励ましのメッセージが届いています。また、個人的、自発的に信徒同士のネットワークを通して、あるいは小教区単位、修道会単位で被災地支援を展開して下さっていることもたくさん報告されてきておりますが、こうした善意の活動のすべてを皆様にご報告できずしております。皆様からのご支援誠に感謝にたえません。

皆様にお伝えしなければならないことが山積みなのですが、力不足です。今回は、全国の教会が仙台教区をどのように支援して下さっているかについてご報告します。



↑ 仙台カテドラルにある仙台サポートセンター本部



↑ 初期の釜石ベースのボランティア

仙台教区から発した要請とは

仙台教区は、支援を申し出て下さったカトリック司教協議会に対し、仙台教区が打ち出した「新創造計画」への理解を求め、この計画のもと、下記の4項目の要請をいたしました。

1. 仙台教区サポートセンターの活動を推進するために人材を派遣してほしい：短期ボランティア、長期スタッフ、専門職スタッフ・ボランティア
2. 司牧面での人材を派遣してほしい：仙台教区の人事に併せて、①青森県大湊教会(1名)、②岩手県久慈教会(1名)、③同大船渡教会(1名)、④宮城県築館教会(1名)、同仙台中央地区(2名)
3. 救援活動のための物資を息長く送ってほしい
4. 全国の教会が被災沿岸部で直接的な救援活動を実施してほしい

1. サポートセンターの活動ため
人材を全国の教会が派遣

3月16日、サポートセンターが立ち上がった直後から、自発的にボランティアに参加してくださったり、サポートセンターや仙台教区内の小教区や修道会、カトリック事業体への様々な緊急支援が行われました。本当に感謝しています。後になって、様々な支援が仙台教区内の教会や被災地に届けられていたことを知ることができました。一人ひとりの皆様に直接にお礼を届ける事ができません。この場を借りて御礼申し上げます。



←現地へボランティアとして来て下さった多くの修道会のシスターたちがサポートセンター訪問してくれています

すでに第2号でお知らせした通り4月9日からは日本女子修道会総長管区長会がベースを運営するためのスタッフを毎週継続して送り続けて下さっています。信者ではないボランティアの多くがこのシスターの存在と場を癒してくださる働きを高く評価してくれています。また、司教協議会を通じて行われた要請により、多くの教区が仙台のニーズへ応えるため各教区単位の「サポートセンター」を開設し、短期ボランティアやベース運営のための長期スタッフを送って下さいました。ボランティアさんは7月中旬までに2,000人を超えました。何度も来て下さるボランティアもおられ頭が下がる思いです。しかしながら、この被災者に直接関わっていただくボランティアを現地へ送り出すための**ベース運営スタッフが足りません。この長期スタッフの派遣をよろしく願いいたします。**

2. 司教協議会・男子管区長会
司祭を派遣

司教協議会は、日本カトリック管区長協議会とも協力し、仙台教区の要請に応じて、日本に三つある「教会管区」単位で6名の司祭派遣を司教総会で正式に決定しました。派遣に際しては、主に岩手県を長崎管区が、岩手県南部から宮城県北部を大阪管区が、そして宮城県南部から福島県を東京管区がカバーすることが申し合わされています。<第4号別紙;「仙台教区支援配置図」を参照>

これに先行する形で、3月から小さき兄弟会；塩田希神父が大船渡教会に派遣されておりました。9月末まで司牧支援をして下さいます。また、フランシスコ会は佐藤宝倉神父を6月の1ヶ月石巻教会に派遣して下さっておりました。東京教区は浦野雄二神父を仙台中央地区に5月から派遣して下さっています。

7月からは、すでに男子管区長会が大湊教会の司牧を開始して下さっています。また、久慈教会には長崎管区から伊東成晃神父(福岡教区)が、築館教会には大阪管区から池田雄一神父(大阪教区)が着任しています。8月からは森田直樹神父(京都教区)が派遣され、8、9月は主に救援活動を支援し、10月から大船渡教会に着任する予定です。東京管区は残る1名を仙台中央地区に派遣するべく検討してくださっています。

月1回開催されている仙台教区サポート会議風景。

4月8日、初回が開催された。司教協議会担当司教である菊地司教、さいたまサポートセンターより谷司教が訪問して当地の平賀司教、小松事務局長、仙台サポートセンターのスタッフが仙台教区支援のための会議を開いています。

7月29日の第4回会議から三管区の責任者も加わるようになりました。



3. 救援物資の支援は

現在、救援物資を大々的に要請するという方法は止めています。それは、お願いをしてそれが送られてくるまでに時間を要すること、また、必要な数を把握してスムーズに被災者に提供することが困難なためです。現地からの要請は急にきて、必要な時期も非常に限られており、タイムリーに供給するためにカリタスジャパンへの義援金を当て、被災地で集めてこれを供給する形を取っています。

今後、息長く支援していくために全国の教会に、特定の物資をお願いする時が来ると思いますので、準備ができ次第全国の教会宛要請しますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。